

B枝は下垂したりねじれたりしない

C 細葉 葉や花は総て互生する

D 細葉 葉裏はやや白味がある

E葉は広被針形-長楕円形が標準

F側脈ははっきり裏凸する 若葉はすぐ無毛 成葉は中脈も含め無毛 葉柄は無毛 新枝は無毛

G葉柄やや短く2-8mm 托葉は鋭頭、卵形、顕著で残る 道・上高地に分布 【エゾヤナギ節】

(SGHY、道・上高地、川畔)(高木;葉45細)【14エゾヤナギ】

葉ははじめから両面無毛

葉表は深緑艶

鈍細鋸歯

葉は被針楕円形-広被針形;50-120mm、巾7-30mm

葉柄2-8mm;無毛

托葉顕著、8-14mm;遅くまで残る (図より)托葉円-広卵形

若葉は伏毛あり、すぐ無毛

小枝ははじめから無毛、しばしば粉白帯びる 樹皮内面鮮黄色

(Y;2年枝は白粉をかぶるが、タチヤナギやケショウヤナギは1年枝から白い)

(C;1年枝が多少とも白い蠟質かぶり、時にケショウヤナギと見誤られることがあるが、托葉があり、1年枝は紫褐-黄褐色、冬芽扁平で異なる)

変品種;【14コエゾヤナギf;(SGOH、上高地)(葉344細)苞の下半部縁に腺なし】

G葉柄は長く8-16mm程 托葉は扁鋭頭(鋭尖)、腎形(小さい場合扁広卵形)、早落性

葉は革質 全国湿地に普通

【タチヤナギ節】

(SGOHKTY、全国普通、湿地)(大低木-小高木;葉345細)【02タチヤナギ】

新葉は表やや多毛、すぐ散毛;毛は脱落性 葉は両面ほぼ無毛、中脈は両面ほぼ無毛

葉表は緑(黄色味あり)、艶あり;裏やや粉白-青灰色;中脈は明褐色

葉表は中脈凹、側脈平坦、時に肋脈(注)明、細脈透視;裏は中脈凸、側脈は細く低く明凸

鋭鋸歯-低波鋸歯-ひら鋸歯、稀に全縁;腺先は下-前向き

葉は被針楕円-長楕円形 50-150mm、巾13-30mm 中部が最広、葉は正形

葉柄はほぼ無毛(若葉で上面有毛);葉柄は長い 16mm

托葉は扁鋭頭(鋭尖)、腎形(小さい場合扁広卵形);早落性

托葉痕は楕円で葉柄の1/3-1/2、やや大きい;若時に托葉不明?;托葉痕不明-点円状

新葉の中段が褐色帯びる

新枝は無毛、芽有毛 しばしば白粉

(遠目で;新葉中段の褐色は、良く見ていくとやや褐色を感じる;成葉は細葉で、緑濃く、波打ち

;葉柄が長く感じる;山口)(Y;ジャヤナギとよく混同されるが、ジャヤナギは葉裏が粉白)